

2024

大学院 造形学研究科

建築学専攻／デザイン学専攻

大学院案内

■カリキュラム

新たなカリキュラムでより学びやすくなりました。

これからの社会は、ITやAIを活用したコミュニケーションの機会が増大し、今まで培ってきた知識や技術にIoTを加えた新たなモノとのかかわり方をデザインすることが求められます。

建築空間・居住空間も機能性・居心地・安全性を考える上で、AIを活用する新たなフェーズに移行しつつあります。ビジネススタイルは、インターネットと実店舗・実空間を組み合わせ、より軽やかで使いやすいモデルに移行していくでしょう。

愛知産業大学は、建築・スマートデザイン・総合経営の3学科を有しています。

大学院では、これらの分野を発展的、統合的に学ぶ機会を提供するとともに、研究として深化させ、これからの社会やビジネスをデザインできる人材を育成することを目的としています。

○e-ラーニングの導入

学習時間が自由に選択できるように、一部の科目でe-ラーニングを導入したオンデマンド型授業を行います。

○長期履修制度の創設

社会人でも働きながら計画的に学べる長期履修制度[3年/4年]です。

※年間学費負担が軽減されます[566,666円(3年制)/425,000円(4年制)]。

1年次の入学金などは別途必要です。

○専修免許状（工業／美術）の取得

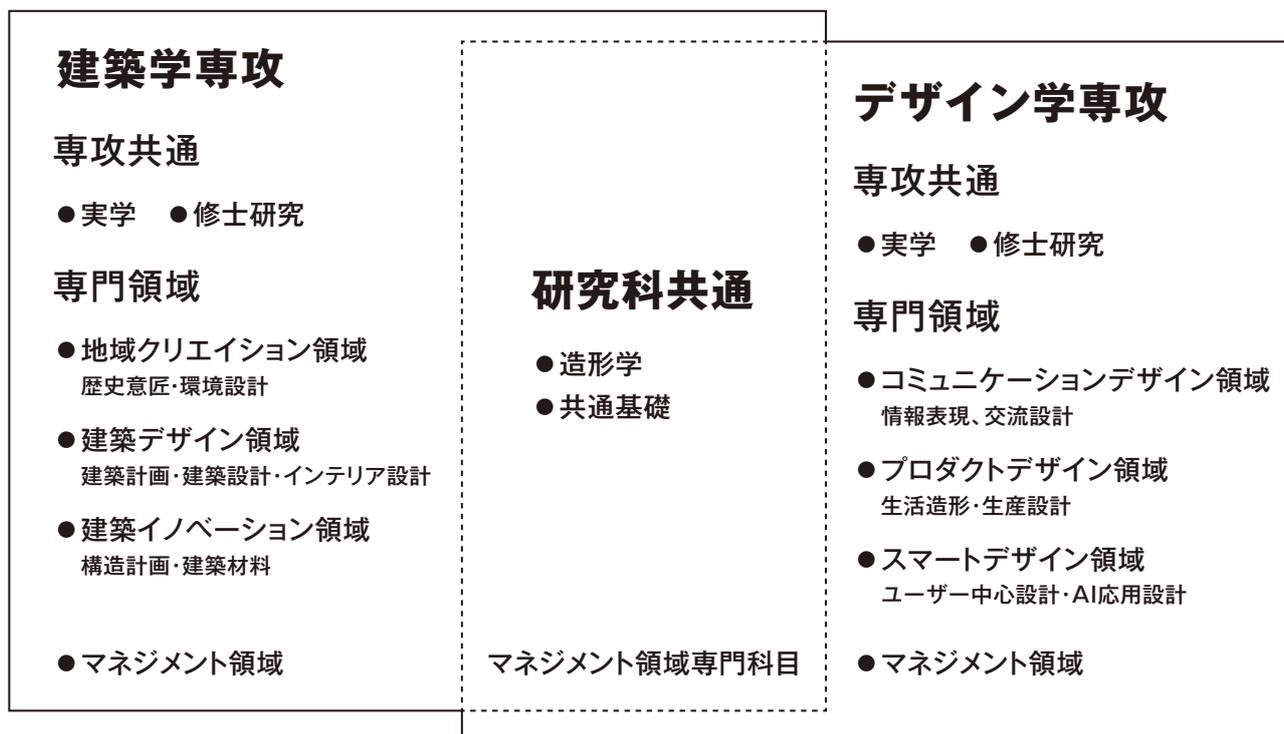
「中学校教諭一種免許状(美術)」または「高等学校教諭一種免許状(工業／美術)」を取得済みの場合、「専修免許状(工業／美術)」が取得できます。

○一般教育訓練給付指定講座の指定

雇用保険法に規定する一般教育訓練の指定を受けており、要件を満たす方には修了後に教育訓練給付金が支給されます。

○マネジメント領域の設置

両専攻にマネジメント領域があります。



1

建学の精神

豊かな知性と誠実な心を持ち
社会に貢献できる人材を育成する

大学院設置の理念

愛知産業大学大学院は、平成17年4月造形学研究科建築学専攻を、平成19年4月にデザイン学専攻を開設しました。

建築学専攻

建築・都市の分野において、21世紀の新しい社会創造に貢献できる有為な人材の育成を目指しています。建築造形の思想は、従来のスクラップ・アンド・ビルドの考え方から、環境負荷の少ないサステナブル社会の構築を目指す建設・管理・修理・改修・保全・保存という考え方へ大きく移行してきています。こうした新しい社会造形の中心的な役割を担う建築・都市の分野に資する造形デザイナー養成のための研究教育の場でありたいと考えています。

デザイン学専攻

現代社会において、よりよい日常生活を創る方策を探究し、提案する人材の育成を目指しています。デザインのさまざまな分野において、生活者と使い手の立場に立ち、日常生活の中から問題を発見し解決を図る姿勢や、人々と協調しつつ統率していく能力を身に付け、プロデューサーやディレクター等として活躍する人材の養成のための、研究教育の場でありたいと考えます。

造形学研究科の 教育研究上の目的

人間の生活に不可欠な造形活動を、生活を包み容れる建築空間を創り出す「社会造形」と、日常行為を支える用具や生活様式を提案する「生活造形」の面から深く探究し、これらの実務に携わる、高度な倫理観と知識・技能を併せもった実践的職業人の育成を目的とします。

アドミッションポリシー

造形学研究科

造形学研究科では、社会・生活・地域の多様な造形に強い興味と問題意識を持ち、建築またはデザインを通じて社会に貢献できる人材を育成します。そのため、幅広い知識と専門的な能力を持つ高度職業人を目指して、持続可能な社会と地域産業に貢献する強い意志を持つことが求められます。

建築学専攻

建築学専攻では、建築およびそれを取り巻く産業において、地域や生活に積極的に貢献できる人材を育成します。そのため、社会人として基本的な素養、論理的な思考と倫理観を持ち、サステナブル建築を実現に貢献したいという意欲が求められます。

したがって、推薦入学選考では学修意欲とともに大学院において研究活動を進める能力を有するかの判断をします。一般選考では大学院での学修に必要な基礎的な学力と専門知識を持っているかを判断します。

デザイン学専攻

デザイン学専攻では、情報サービスや生活用品およびそれらに関係する産業において、地域や生活に積極的に貢献できる人材を育成します。そのため、社会人として基本的な素養、論理的な思考と倫理観を持ち、サステナブルな社会の実現に貢献したいという意欲が求められます。

したがって、推薦入学選考では学修意欲とともに大学院において研究活動を進める能力を有するかの判断をします。一般選考では大学院での学修に必要な基礎的な学力と専門知識を持っているかを判断します。

2

研究教育の特色

造形学研究科の概要

	建築学専攻	デザイン学専攻
課 程	修士課程(標準修業年限2年)	修士課程(標準修業年限2年)
学 位	修士(建築学)	修士(デザイン学)
入学定員	10名	10名

造形学研究科

1. 4月と10月の学期入学制です。

半年ごとに入学可能な入試体制・研究教育体制を用意しています。職業人や社会人の方にもチャレンジしやすい入学者選考を実施し、長期履修課程を新設し、学びの機会を増やします。e-ラーニングシステムによるオンデマンド型授業も開始し、学修時間の自由度も拡がりました。科目等履修生制度の活用により、社会の要請など必要に応じた学び直しにも柔軟に対応しています。

共通領域では専攻をまたがり、高度なマネジメント実務に携わる人材の育成を目指しています。

2. リーズナブルな学費と奨学金で学修を支援します。

本学の近隣の私立大学に設置されている大学院と比べ、最も安い学費を設定しています。また、優秀な学習成績をあげて学生を支援する制度やティーチング・アシスタント制度も設けています。

3. 厚生労働省一般教育訓練給付指定講座です。

雇用保険法に規定する一般教育訓練の指定を受けており、要件を満たす方には修了時に教育訓練給付金が支給されます。

建築学専攻

1. 高度な建築職務に従事できる専門職業人の育成。

良質な社会ストックとしての建築や都市を創造することのできる人材が求められています。本学では、そのニーズに応え得るよう設計教育に特に力点を置き、高度な専門職業人を育成します。新たに長期履修課程を設け、より社会人に学びやすくなりました。

2. カリキュラムの特色。

カリキュラムは「研究科共通科目」「専攻共通科目」「専攻領域科目」という3つのカテゴリから構成されています。研究テーマを学生自ら設定し、徹底的に探求できるように研究教育の環境を整えています。

3. 「専修免許状(工業)」が取得できます。

「高等学校教諭一種免許状(工業)」を既に取得している方は、さらに特別な科目を履修しなくても「専修免許状」が取得できます。

デザイン学専攻

1. 高度なデザイン業務に従事できる専門職業人の育成。

単にモノを個別にデザインするのではなく、人間らしく在るとはどういうことかという視点から日常生活を問い直し、社会や生活を調和的にデザインすることができる高度な専門職業人を育成します。

2. カリキュラムの特色。

社会の変化や時代のデザイン潮流を踏まえて自らが設定した研究テーマについて深く考究でき、様々な造形分野の教員や研究仲間と協調的に議論し制作できる研究教育環境とカリキュラムを用意しています。

3. 中学校および高等学校の「専修免許状(美術)」が取得できます。

「中学校教諭一種免許状(美術)」または「高等学校教諭一種免許状(美術)」を既に取得している方は、さらに特別な科目を履修しなくても各「専修免許状」が取得できます。

3-1

建築学専攻の教育

建築学専攻の研究教育領域

地域クリエイション領域 歴史意匠・環境設計	地域の文化・伝統・歴史・環境を理解して未来を創造します 持続可能な地域を形成してゆくには、地域の特性を見極め、地域の潜在力を魅力や価値に転換してゆくことが求められます。歴史的な文脈や景観資産を理解し、現代的な活かし方や未来に継承する方策などについて考究します。また、地域の産業や素材の活用、省エネルギーなどに配慮した持続可能な建築などについても検討します。
建築デザイン領域 建築計画・建築設計・インテリア設計	暮らしの空間や社会の在り方をデザインし提案します 建築デザインでは、内部と外部、さらにその周辺環境にも配慮して創造することが求められます。内部では、利用する人々の住まい方や使われ方の注目し、快適性や利便性に優れた空間を提案することが求められ、外部や周辺環境ではその建物が都市に与える影響へ考慮が必要となります。持続可能な社会にふさわしい建築を目指して、インテリア・建築・都市の生産・維持管理・再生に十分配慮した設計能力を育成します。
建築イノベーション領域 構造計画・建築材料	暮らしや社会生活で活用できる新たな技術・価値・しぐみを提案します 建築物は、社会が求める「安全」かつ「安心」を満たすのに最適な構造・材料で計画・設計されます。建築イノベーション領域では、過去から現在、そして未来を見据えて、構造や材料に関する知識と技術を学修し、社会に必要なイノベティブな発想と能力、工学的センスを身につけます。
マネジメント領域	マネジメントは「経営管理」などの意味を持ち、組織目標の達成を目指すことをいいます。高度化する産業社会では、分野を問わず高度なマネジメント能力が求められるようになってきました。マネジメント領域では、ファイナンスやマーケティング、組織デザイン、人的資源管理、経営戦略、イノベーション等について、理論と実践との融合という見地からアプローチしていきます。ヒト・モノ・カネ・情報などの経営資源を効率的に活用し、成果を高める実務的なセンスと能力を高めることで、様々な職務で活躍できるレベルの高い専門職業人の養成を目指します。

研究科共通科目

日本の造形 A
日本の造形 B
造形倫理学
造形特論
建築学特別講義
デザイン学特別講義
マネジメント学特別講義
マネジメント特論
技術・産業論

専攻共通科目

設計演習 (A、B、C、D)		
建築環境論	都市設計論	都市環境論
(地域クリエイション)		
建築設計論	インテリア実務論	インテリア論
(建築デザイン)		
材料設計論	構造設計論	構造安全論
(建築イノベーション)		
建築学ゼミナール (A、B、C、D、E、F)		
実務研究	建築時事	実務実習

3-2

建築学専攻 教員

研究科

杉山 奈生子 [教授] デザイン学専攻長
博士(文学)/名古屋大学大学院

- 主な担当科目
日本の造形A、日本の造形B、造形倫理学、造形特論
- 研究指導テーマ(例)
 - 1) 西洋近世の美術作品および言説に関する研究
 - 2) デザイン概念の形成と展開に関する歴史的研究
 - 3) 東洋と西洋の造形感覚に関する比較研究

地域クリエイション領域 歴史意匠・環境設計

新井 勇治 [教授] 造形学研究科長
修士(工学)/法政大学大学院

- 主な担当科目
建築時事、実務実習、建築学ゼミナール
- 研究指導テーマ(例)
 - 1) 中東・イスラーム地域における都市構成
 - 2) 西アジアにおける古代から現代までに至る住居建築と住まい方
 - 3) 建築史・都市史および建築文化

宮崎 晋一 [教授]
修士(工学)/名古屋工業大学大学院

- 主な担当科目
設計演習、建築学特別講義、建築学ゼミナール
- 研究指導テーマ(例)
 - 1) 地域を変えるデザインの研究
 - 2) 古民家再生におけるコミュニティの創成
 - 3) 公園利活用と建築教育プログラムの可能性

宇野 勇治 [教授]
博士(工学)/名古屋工業大学大学院

- 主な担当科目
建築環境論、実務研究、建築学ゼミナール
- 研究指導テーマ(例)
 - 1) 地域の木と土を活かした住宅の環境性能評価
 - 2) 自然エネルギーを活用した建築のデザイン手法
 - 3) 伝統建築技術を活かした景観再生に関する研究

建築デザイン領域 建築計画・建築設計・インテリア設計

高木 清江 [准教授]
博士(工学)/名古屋工業大学大学院

- 主な担当科目
設計演習、建築設計論、建築学ゼミナール
- 研究指導テーマ(例)
 - 1) 建築・都市空間のイメージと構成手法
 - 2) 公園等の利用を高める空間構成
 - 3) 子どもにやさしいまちをつくる施策と事業

竹内 孝治 [准教授]
修士(建築学)/愛知産業大学大学院

- 主な担当科目
建築学特別講義、建築学ゼミナール
- 研究指導テーマ(例)
 - 1) 昭和期日本における木造建築論の展開と変質
 - 2) 近現代における住宅産業の発展と変容
 - 3) 戦時期日本における住宅計画の理論と思想

秋田 美穂 [准教授]
博士(工学)/名古屋大学大学院

- 主な担当科目
インテリア実務論、建築学ゼミナール
- 研究指導テーマ(例)
 - 1) 住宅および商環境デザイン
 - 2) 建築系大学における設計教育の調査と分析
 - 3) 地球環境と持続可能性に着目した団地再生評価基準策定のための研究

栗原 健太郎 [准教授]
修士(工学)/工学院大学大学院

- 主な担当科目
インテリア論、建築学ゼミナール
- 研究指導テーマ(例)
 - 1) エリア「境界」の生成に関する研究
 - 2) 連棟形式の可能性
 - 3) 建築の兼用性

建築イノベーション領域 構造計画・建築材料

小椋 紀行 [教授] 建築学専攻長
博士(工学)/名古屋工業大学大学院

- 主な担当科目
設計演習、構造設計論、構造安全論、建築学ゼミナール
- 研究指導テーマ(例)
 - 1)防災意識の経年変化を考慮した地震対策
 - 2)体験型建築構造教材の効果
 - 3)RC部材の破壊過程の視覚化

今西 貴美 [教授]
修士(工学)/名古屋工業大学大学院

- 主な担当科目
材料設計論、建築学特別講義、建築学ゼミナール
- 研究指導テーマ(例)
 - 1)住宅材料の意匠価値
 - 2)空間意匠計画の手法
 - 3)機能的な行為空間の分析

マネジメント領域

丸山 宏 [教授]
経済学修士/東京大学大学院

- 主な担当科目
マネジメント学特別講義、建築学ゼミナール
- 研究指導テーマ(例)
 - 1)建設産業の法的整理による企業再生
 - 2)公共入札制度の経済分析
 - 3)不動産業界におけるM&Aの効果の分析

金久保 正明 [教授]
博士(工学)/慶應義塾大学大学院

- 主な担当科目
建築学ゼミナール
- 研究指導テーマ(例)
 - 1)データサイエンス手法の経営学への応用
 - 2)Excelを用いた経営シミュレーション
 - 3)経営情報システムのAI技術を用いた改良

山崎 方義 [教授]
博士(マネジメント)/京都産業大学大学院

- 主な担当科目
マネジメント特論、建築学ゼミナール
- 研究指導テーマ(例)
 - 1)リレーションシップ・マーケティングの発展と領域拡大
 - 2)ステークホルダー・マネジメントにおけるコミュニケーション活動
 - 3)SDGsとソーシャル・コミュニケーションに関する研究

鶴見 正史 [教授]
博士(学術)/佐賀大学大学院

- 主な担当科目
建築学ゼミナール
- 研究指導テーマ(例)
 - 1)日本における中小企業会計基準の成り立ちと諸問題
 - 2)キャッシュ・フロー計算書と簿記の会計構造
 - 3)明治以降における簿記の史的 research

奥田 真之 [教授]
博士(経済学)/名古屋大学大学院

- 主な担当科目
技術・産業論、建築学ゼミナール
- 研究指導テーマ(例)
 - 1)中小企業の経営と地域金融機関の役割に関する研究
 - 2)地域産業の発展と地域金融機関の役割に関する研究
 - 3)地方創生のための地域金融機関の役割に関する研究

3-3

履修モデル・修士研究例

履修モデル

	学年 学期		科目名	必修/選択	授業形態	教職課程 必修/選択	単位数	地域	建築	建築	マネジメント
								クリエイション	デザイン	イノベーション	
研究科 共通科目	1	春	日本の造形A	選択	講義		2	2	2	2	2
	1	秋	日本の造形B	選択	講義		2	2	2		2
	2	春	造形倫理学	選択	講義		2	2		2	2
	2	秋	造形特論	選択	講義		2		2	2	2
	1	春	建築学特別講義	選択	講義		2	2	2	2	2
	1	秋	デザイン学特別講義	選択	講義		2				2
	2	春	マネジメント学特別講義	選択	講義		2				2
	1	春	マネジメント特論	選択	講義		2				2
建築学専攻 共通科目	1	秋	技術・産業論	選択	講義		2				2
	1	春	設計演習A	選択	演習	必修	2	2	2	2	
	1	秋	設計演習B	選択	演習	必修	2	2	2	2	
	2	春	設計演習C	選択	演習	必修	2	2	2	2	
	2	秋	設計演習D	選択	演習	必修	2				
	1	春	実務研究	選択	演習	選択	2				
	2	春	建築時事	選択	講義	必修	2				
		実務実習	自由	実習		※16					
建築学専攻 専門科目	1	春	建築環境論	選択	講義	選択	2	2			
	1	秋	都市設計論	選択	講義	選択	2	2			
	1	秋	都市環境論	選択	講義	選択	2				
	1	春	建築設計論	選択	講義	選択	2		2		
	1	秋	インテリア実務論	選択	講義	選択	2		2		
	1	春	インテリア論	選択	講義	選択	2				
	1	秋	材料設計論	選択	講義		2			2	
	1	春	構造設計論	選択	講義	選択	2			2	
	1	秋	構造安全論	選択	講義	選択	2				
	1	春	建築学ゼミナールA	必修	演習		2	2	2	2	2
	1	秋	建築学ゼミナールB	必修	演習		2	2	2	2	2
	2	春	建築学ゼミナールC	必修	演習		2	2	2	2	2
	2	春	建築学ゼミナールD	選択	演習		2	2	2	2	2
	2	秋	建築学ゼミナールE	必修	演習		2	2	2	2	2
2	秋	建築学ゼミナールF	選択	演習		2	2	2	2	2	

必修科目8単位、選択科目22単位以上、計30単位以上と修士研究審査・最終試験の合格が修了要件です。 ※修了要件30単位には含まれません

修士研究例

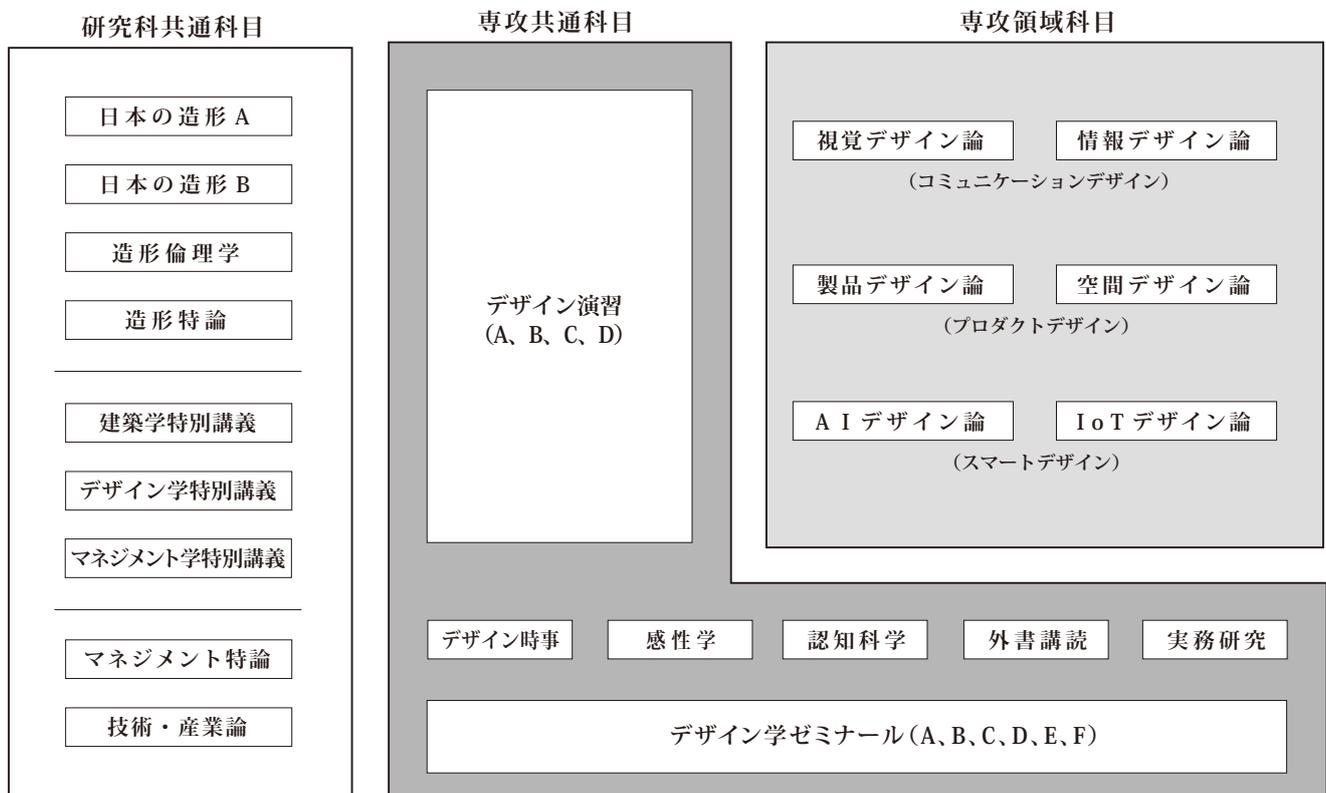
領域	種別	研究題目
地域クリエイション	論文	日本における歴史的建築のコンバージョンの特質に関する研究
		豊橋市・浜松市における都市イメージの構造に関する研究
		イスラーム建築におけるミフラーブに関する研究
	設計	岡崎市中心街に建つ多機能型宿泊施設の計画 文化教育機能による岡崎康生通りの再生に関する研究
建築デザイン	論文	公的主体により運営される病院建築における病室の持つ特性と課題点の抽出
		屋外実験による土壁断熱手法に関する実験的研究
		性格類型から見た居住空間選好に関する研究
		居住空間におけるインテリア類型の種類と変遷 商空間における空間認知を活用したインテリアの空間演出手法の研究
建築イノベーション	論文	周辺支持条件を考慮した平板の座屈耐力改善に関する研究
		RC部材の曲げ圧縮破壊・せん断圧縮破壊の破壊進行に関する研究

4-1

デザイン学専攻の教育

デザイン学専攻の研究教育領域

<p>コミュニケーション デザイン領域</p>	<p>人間が持つ意思疎通への基本的欲求は、その“思い”の表現と伝達の手法を発達させ、実に多種多様なメディアが利用されてきました。コミュニケーション分野では、紙メディアから電子メディアが主流となり、表現手法や伝達手段が多様になっています。多量の情報発信が個人でも可能になり、誰でも様々な情報を得ることが可能となるにつれて、情報伝達デザインでは倫理問題が重要となっています。そこで、多種多様なメディアの活用と最新の伝達デバイスへの適用を研究し、新たな情報デザインの表現や適用の提案ができる先導的職業人を養成します。</p>
<p>プロダクト デザイン領域</p>	<p>身近な生活で使用される日用品、道具、遊具、乗り物、家具等を、人間の身体や生活習慣との関係や、それらの置かれる空間や環境との関係など様々な視点で問い直し、より使いやすく、楽しく、美しく、快適でかつ持続可能なモノや空間さらには、システムとして提案していきます。そして、その提案を企業や社会に提示できる実践的職業人として育成します。</p>
<p>スマート デザイン領域</p>	<p>社会や生活の中でA I [人工知能]技術が活用され始めています。サステナブルな社会の実現にはA I を用いたサービスや製品の創造が求められている時代であって、単にデザイン結果を提案するだけでなく、ユーザーに寄り添って成長・進化するデザインのあり方を研究します。デザインへのA I 技術の適用やIoTへの活用など、産業界とユーザーを本当の意味で結びつける新しい領域の先導的職業人を育成します。</p>
<p>マネジメント領域</p>	<p>マネジメントは「経営管理」などの意味を持ち、組織目標の達成を目指すことをいいます。高度化する産業社会では、分野を問わず高度なマネジメント能力が求められるようになってきました。マネジメント領域では、ファイナンスやマーケティング、組織デザイン、人的資源管理、経営戦略、イノベーション等について、理論と実践との融合という見地からアプローチしていきます。ヒト・モノ・カネ・情報などの経営資源を効率的に活用し、成果を高める実務的なセンスと能力を高めることで、様々な職務で活躍できるレベルの高い専門職業人の養成を目指します。</p>



4-2

デザイン学専攻 教員

研究科

杉山 奈生子 [教授] デザイン学専攻長
博士(文学) / 名古屋大学大学院

○主な担当科目

日本の造形A、日本の造形B、造形倫理学、造形特論

○研究指導テーマ(例)

- 1) 西洋近世の美術作品および言説に関する研究
- 2) デザイン概念の形成と展開に関する歴史的研究
- 3) 東洋と西洋の造形感覚に関する比較研究

コミュニケーションデザイン領域

宇井 朗浩 [教授]

教育学修士 / 愛知教育大学大学院

○主な担当科目

デザイン学特別講義、情報デザイン論、デザイン演習D、デザイン学ゼミナール

○研究指導テーマ(例)

- 1) デジタル配信映像におけるコンテンツ設計
- 2) キャリア理論を援用した映像のストーリー制作
- 3) ドキュメンタリーと地域性の関係

松浦 主税 [講師]

修士(芸術) / 愛知県立芸術大学大学院

○主な担当科目

視覚デザイン論、デザイン演習A、デザイン学ゼミナール

○研究指導テーマ(例)

- 1) 風景表現とデザインコンテンツへの活用に関する研究
- 2) 映像用背景画の表現とその技法に関する研究
- 3) デザインにおける平面的空間表現の利用に関する研究

岩田 政巳 [准教授]

芸術学修士 / 東京芸術大学大学院

○主な担当科目

デザイン時事、デザイン演習A、デザイン学ゼミナール

○研究指導テーマ(例)

- 1) 平面表現作品の制作研究
- 2) 平面表現技法における材料研究
- 3) インスタレーション表現研究

プロダクトデザイン領域

木村 光 [教授]

修士(芸術) / 東亜大学大学院

○主な担当科目

製品デザイン論、デザイン演習B、デザイン学特別講義、
デザイン学ゼミナール

○研究指導テーマ(例)

- 1) スマートモビリティにおける快適性の研究
- 2) デザインにおける発想の手法に関する研究
- 3) 業務プロセスと商品化デザイン計画に関する研究

森 理恵 [講師]

修士(芸術) / 愛知県立芸術大学大学院

○主な担当科目

空間デザイン論、デザイン演習C、デザイン学特別講義、
デザイン学ゼミナール

○研究指導テーマ(例)

- 1) 日本の住空間における家具の研究および制作
- 2) 生活用品および家具の普遍的形態に関する研究
- 3) 日本人の尺度と空間およびモノとの関係性についての研究

スマートデザイン領域

西村 雅史 [教授]

博士(工学)/豊橋技術科学大学大学院、工学修士/大阪大学大学院

○主な担当科目

デザイン学ゼミナール

○研究指導テーマ(例)

- 1)センサー情報処理応用システムのデザインと評価
- 2)音情報に基づく人間の機能拡張に関する研究
- 3)高齢者・障害者支援技術に関する研究

林 羊歯代 [教授]

教育学修士/金沢大学大学院

○主な担当科目

外書講読、実務研究、デザイン学特別講義、デザイン学ゼミナール

○研究指導テーマ(例)

- 1)装飾美術・工芸の様式論的研究
- 2)「AIアート」概念の形成と展開に関する研究
- 3)カラーユニバーサルデザインに関する研究

伊藤 庸一郎 [教授]

博士(工学)/名古屋工業大学大学院

○主な担当科目

AIデザイン論、デザイン学ゼミナール

○研究指導テーマ(例)

- 1)デザインのRPA(Robotic Process Automation)化の研究
- 2)AIを用いるHCD(Human Centered Design)手法の確立に関する研究
- 3)AC(Artificial Consciousness)の研究

廣瀬 伸行 [講師]

修士(認知科学)/中京大学大学院

○主な担当科目

IoTデザイン論、認知科学、デザイン学ゼミナール

○研究指導テーマ(例)

- 1)AI・ICTを用いた課題解決の研究
- 2)3DCG・VRシステム、リモートセンシングとAIを活用した課題解決の研究
- 3)AI・キャラクターを用いたコミュニケーションの確立に関する研究

齋 進 [講師]

工学修士/北京郵電大学大学院

○主な担当科目

デザイン学ゼミナール

○研究指導テーマ(例)

- 1)コグニティブ(認知)無線に関する研究
- 2)コンピューターネットワークに関する研究
- 3)知的環境認識型ネットワーク

マネジメント領域

丸山 宏 [教授]

経済学修士/東京大学大学院

○主な担当科目

マネジメント学特別講義、デザイン学ゼミナール

○研究指導テーマ(例)

- 1)建設産業の法的整理による企業再生
- 2)公共入札制度の経済分析
- 3)不動産業界におけるM&Aの効果的分析

山崎 方義 [教授]

博士(マネジメント)/京都産業大学大学院

○主な担当科目

マネジメント特論、デザイン学ゼミナール

○研究指導テーマ(例)

- 1)リレーションシップ・マーケティングの発展と領域拡大
- 2)ステークホルダー・マネジメントにおけるコミュニケーション活動
- 3)SDGsとソーシャル・コミュニケーションに関する研究

奥田 真之 [教授]

博士(経済学)/名古屋大学大学院

○主な担当科目

技術・産業論、デザイン学ゼミナール

○研究指導テーマ(例)

- 1)中小企業の経営と地域金融機関の役割に関する研究
- 2)地域産業の発展と地域金融機関の役割に関する研究
- 3)地方創生のための地域金融機関の役割に関する研究

金久保 正明 [教授]

博士(工学)/慶應義塾大学大学院

○主な担当科目

デザイン学ゼミナール

○研究指導テーマ(例)

- 1)データサイエンス手法の経営学への応用
- 2)Excelを用いた経営シミュレーション
- 3)経営情報システムのAI技術を用いた改良

鶴見 正史 [教授]

博士(学術)/佐賀大学大学院

○主な担当科目

デザイン学ゼミナール

○研究指導テーマ(例)

- 1)日本における中小企業会計基準の成り立ちと諸問題
- 2)キャッシュ・フロー計算書と簿記の会計構造
- 3)明治以降における簿記の史的研究

4-3

履修モデル・修士研究例

履修モデル

	学年 学期		科目名	必修/選択	授業形態	教職課程 必修/選択	単位数	コミュニケーション デザイン	プロダクト デザイン	スマート デザイン	マネジメント
研究科 共通科目	1	春	日本の造形A	選択	講義		2	2	2	2	2
	1	秋	日本の造形B	選択	講義		2		2	2	2
	2	春	造形倫理学	選択	講義		2	2	2		2
	2	秋	造形特論	選択	講義		2	2		2	2
	1	春	建築学特別講義	選択	講義		2				2
	1	秋	デザイン学特別講義	選択	講義		2	2	2	2	2
	2	春	マネジメント学特別講義	選択	講義		2				2
	1	春	マネジメント特論	選択	講義		2				2
	1	秋	技術・産業論	選択	講義		2				2
デザイン学 専攻 共通科目	1	春	デザイン演習A	選択	演習	必修	2	2	2	2	
	1	秋	デザイン演習B	選択	演習	必修	2	2	2	2	
	2	春	デザイン演習C	選択	演習	必修	2	2	2	2	
	2	秋	デザイン演習D	選択	演習	必修	2				
	1	春	実務研究	選択	演習	選択	2				
	1	春	感性学	選択	講義	選択	2				
	1	春	認知科学	選択	講義	選択	2				
	2	春	デザイン時事	選択	講義	必修	2				
	2	春	外書講読	選択	講義	選択	2				
デザイン学 専攻 専門科目	1	春	視覚デザイン論	選択	講義	選択	2	2			
	1	秋	情報デザイン論	選択	講義	選択	2	2			
	1	春	製品デザイン論	選択	講義	選択	2		2		
	1	秋	空間デザイン論	選択	講義	選択	2		2		
	1	春	AIデザイン論	選択	講義		2			2	
	1	秋	IoTデザイン論	選択	講義		2			2	
	1	春	デザイン学ゼミナールA	必修	演習		2	2	2	2	2
	1	秋	デザイン学ゼミナールB	必修	演習		2	2	2	2	2
	2	春	デザイン学ゼミナールC	必修	演習		2	2	2	2	2
	2	春	デザイン学ゼミナールD	選択	演習		2	2	2	2	2
	2	秋	デザイン学ゼミナールE	必修	演習		2	2	2	2	2
	2	秋	デザイン学ゼミナールF	選択	演習		2	2	2	2	2

必修科目8単位、選択科目22単位以上、計30単位以上と修士研究審査・最終試験の合格が修了要件です。

修士研究例・実務研究例

領域	修士研究例	実務研究例
コミュニケーション デザイン	デジタルサイネージと印刷メディアによるクロスメディア展開	外国人児童の教育を目的とする童話のアニメーション製作
	擬人化キャラクターの制作とエージェントとしての活用	ストレス解消音楽のCDパッケージデザイン
	「ふるまい」を表現した文字アニメーションの制作	カラオケ映像コンテンツの見本制作
プロダクトデザイン	現代の個食環境に合わせた食器の提案	遊具メーカーでの新しい遊具の開発・提案
	常夜灯など伝統に基づく道路照明器具のデザイン研究	ゲームイベント展示物の3Dモデルデータの製作
	子供を育むための住空間の有効利用	調理の作業性とインテリア性を両立できるキッチン収納開発
スマートデザイン	AIソフトで猫の成長に寄り添う「猫にやさしい棚」の開発	「かわいい」情報に基づくパッケージのAIコンサルティング
	ユーザーの生活を学習する「針のない時計」プロジェクト	カード型デバイスによるビジネス訓練ゲームのサービス提案
	顔の状態から化粧方法を提案してくれる鏡の開発	気分で変化するインテリアファブリックのパターン開発